

新型コロナウイルス感染症の農林水産業への影響等について

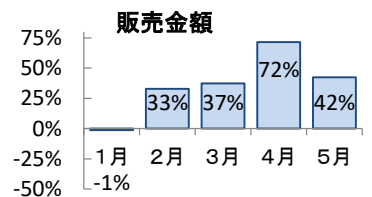
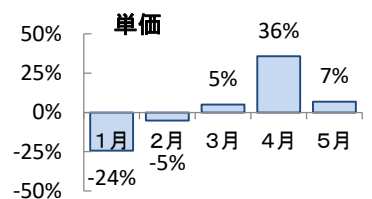
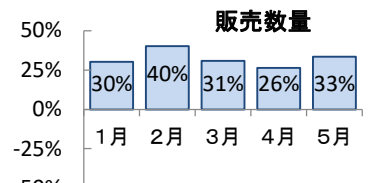
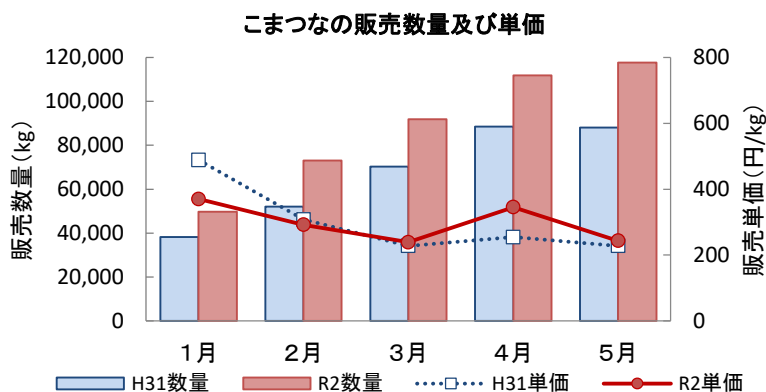
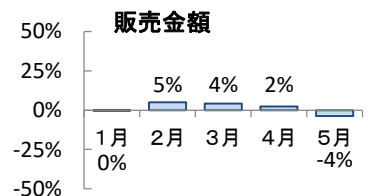
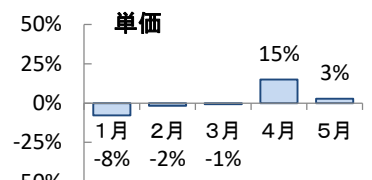
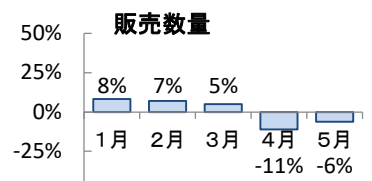
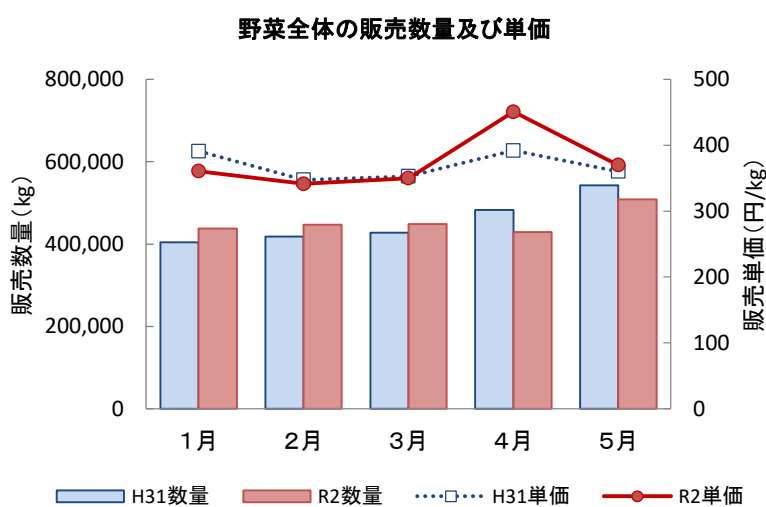
令和2年6月26日
農林水産総務課

1 新型コロナウイルス感染症による影響（令和2年6月23日現在）

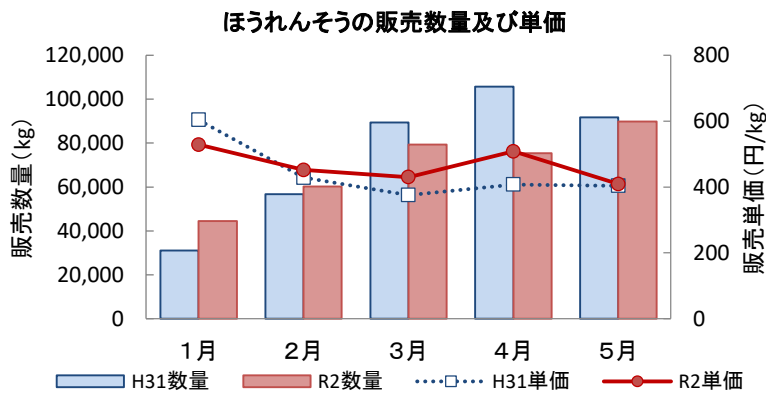
(1) 農業

ア 野菜（広島市中央卸売市場：県内産）

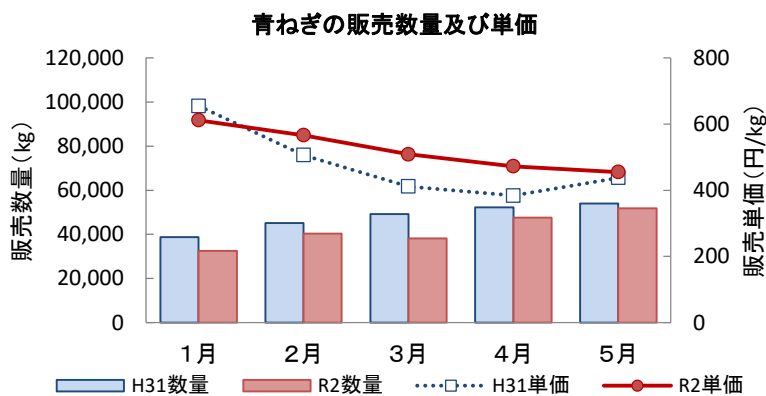
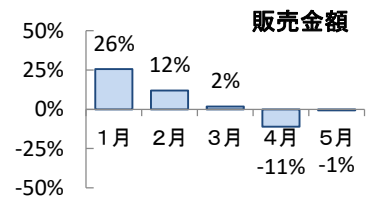
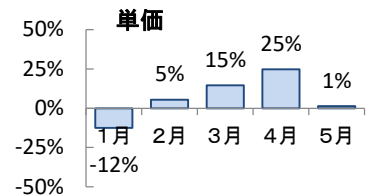
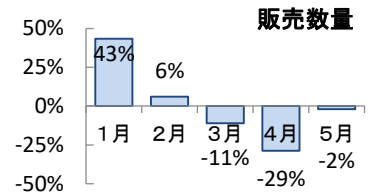
- 令和2年1月から5月の県内産の野菜の販売状況は、4月において、低温の影響等で入荷量が減ったことや消費者向けの小売りが堅調であったことにより、単価が前年より高値となったこと以外は、ほぼ前年並みで推移している。



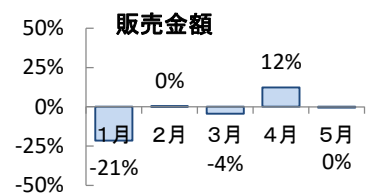
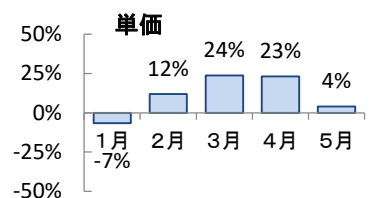
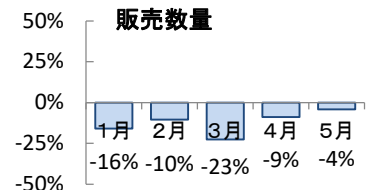
- こまつなは、栽培面積の拡大により販売数量が増加しているため、1月の単価は前年より24%低下するなど安値傾向であった。
- その後、徐々に単価が回復し、4月には前年より36%上昇し、販売金額も大幅に増加した。
- 5月には、単価は前年並みに落ち着きつつあるが、販売金額は前年よりも42%増加している。



- ・ほうれんそうは、暖冬の影響で出荷が前進したため、1月は販売数量が増加し、単価は12%低下した。
- ・その後、徐々に出荷量が減少し、4月は、消費者向けの小売りが堅調であったことから、販売単価は前年より25%上昇した。
- ・5月には、単価は前年並みに落ち着きつつあり、販売金額も前年並みとなっている。



- ・青ねぎの販売数量は、期間を通じて、前年より最大2割程度減少していたが、5月には前年並みとなった。
- ・単価については堅調に推移していたが、5月は前年並みとなった。

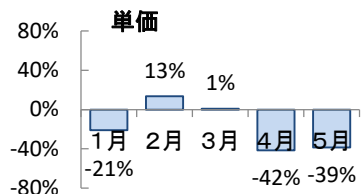
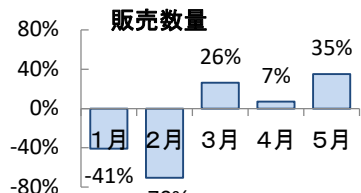
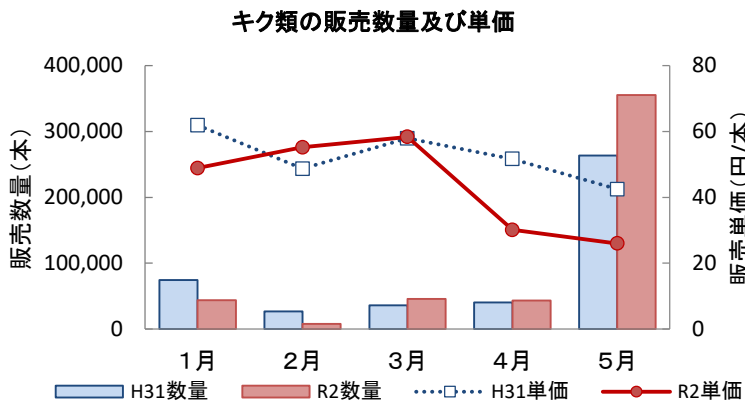
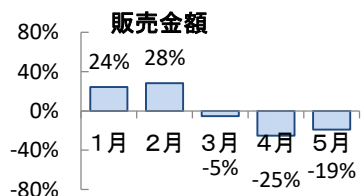
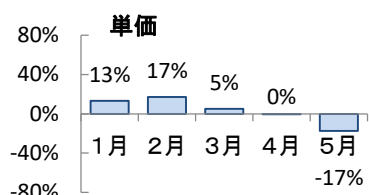
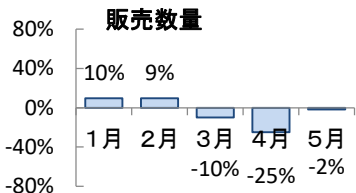
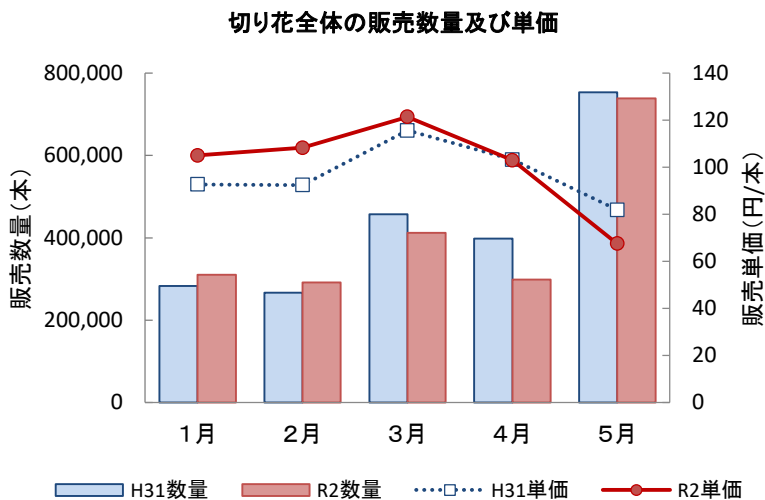


イ 果実（広島市中央卸売市場：県内産）

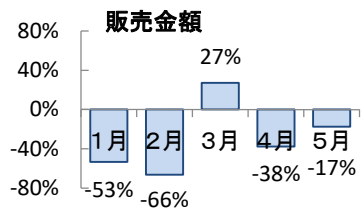
- ・県内産の果実の販売状況については、5月末から、施設栽培のぶどう（デラウェア）やモモの販売が開始され、例年並みの価格で取引されている。
- ・一方で、高級果実の販売が不振であることから、7月以降のギフト商材であるピオーネ等のぶどうの販売に影響が懸念される。

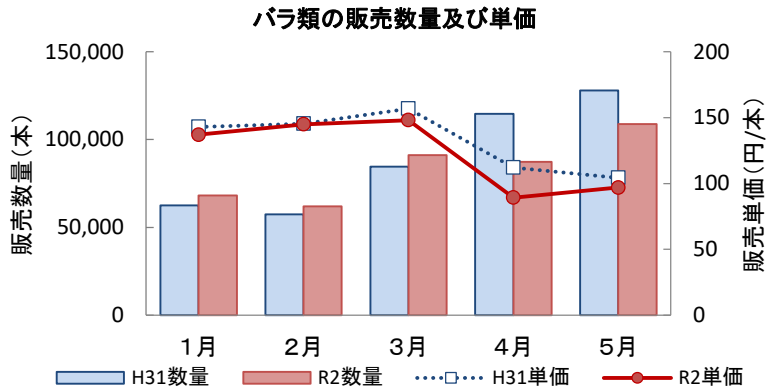
ウ 花き（広島市中央卸売市場：県内産）

- ・県内産の切り花全体の販売単価については、4月までは前年並みで推移していたが、そのうちキク、バラ、カーネーションなどの主要品目は、4月に入り、需要が低迷したことにより、前年から大幅に低下した。
- ・5月に入り、母の日を迎え、バラやカーネーションは回復基調にあるものの、キクを中心に低迷しており、切り花全体の単価は低下傾向にある。

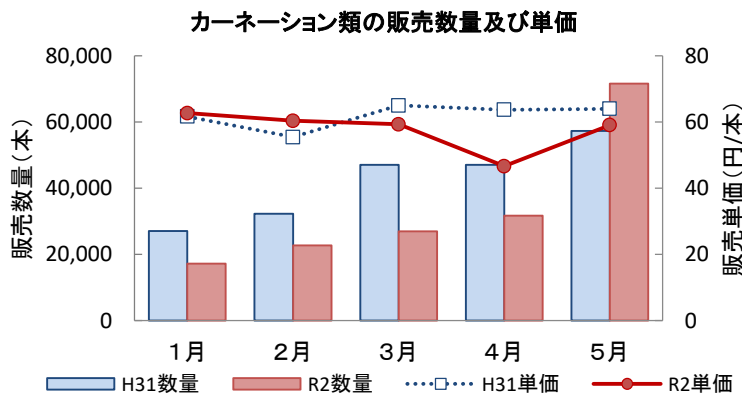
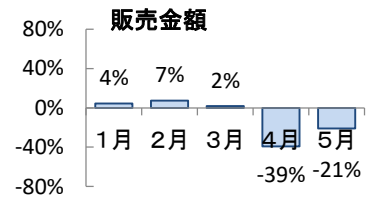
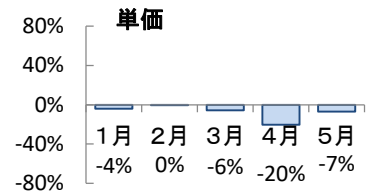
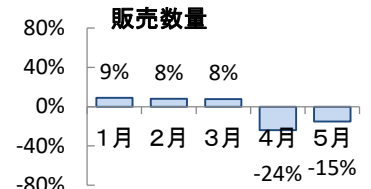


- ・キク類は、3月、彼岸に向けた販売数量が前年より26%増加し、単価も前年並みであったことから、販売金額も増加している。
- ・しかし、4月に入ると、冠婚葬祭等の規模縮小などの影響を受け、単価が前年より42%低下し、販売金額も38%減少した。
- ・5月も、単価が前年より39%低下しており、厳しい状況が続いている。

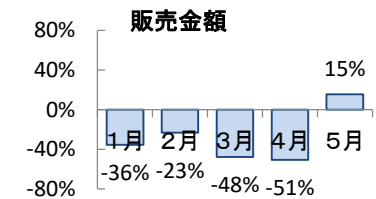
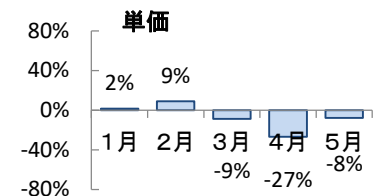
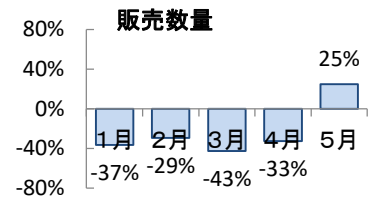




- ・バラ類は、1月から3月の期間、販売数量、単価、販売金額もほぼ前年並みで推移していた。
- ・しかし、4月に入ると、イベントの中止などの影響を受け、販売数量は前年より24%減少し、単価も20%低下したことから、販売金額が39%減少した。
- ・5月は、販売数量が15%の減少、単価は7%の低下と、4月よりも減少幅が縮小し、回復基調にある。



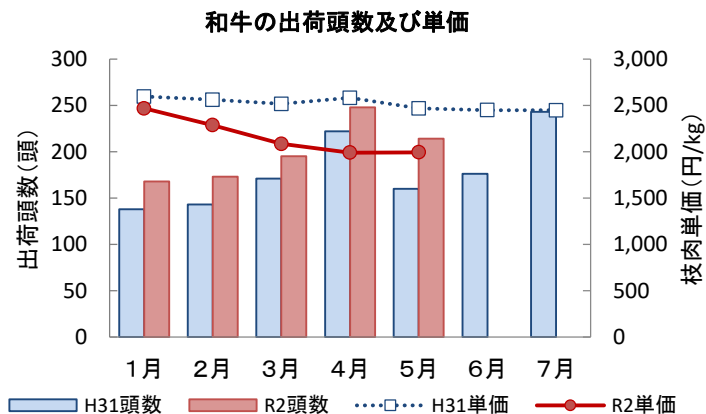
- ・カーネーション類は、1月から3月の期間、販売数量が前年より減少していたが、単価はほぼ前年並みで推移した。
- ・4月に入ると、販売数量が前年よりも33%減少、単価は27%低下したことから、販売金額は半減した。
- ・5月は、販売数量が前年より25%増加し、単価も4月よりも上昇し、8%の低下にとどまったことから、販売金額は前年より15%増加した。



(2) 畜産業

ア 和牛（広島市中央卸売市場食肉市場）

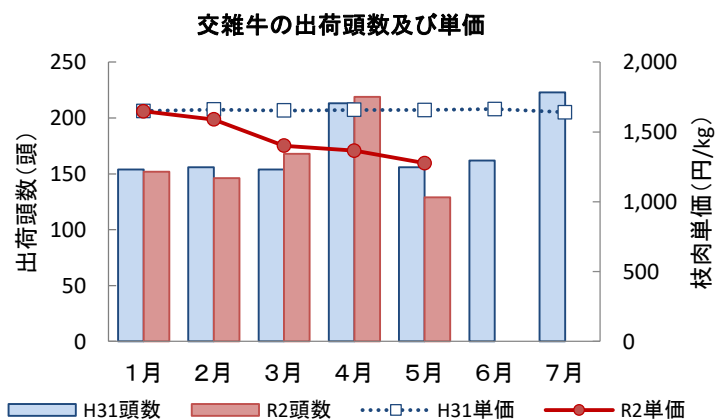
- ・和牛の飼養頭数が増加傾向にあることから、出荷頭数は前年よりも1～3割増加して推移している上、外食向けの需要が低下しており、5月の枝肉単価は対前年同月比で19%低下した。
- ・6月に入り、外食向けの需要が出てきているものの、動きはまだ鈍い。
- ・例年、夏に向けて出荷頭数が増えるため、枝肉単価低下の影響が一層懸念される。



※ 出荷頭数は全ての和牛（成牛）、枝肉単価は和牛去勢A 4

イ 交雑牛（広島市中央卸売市場食肉市場）

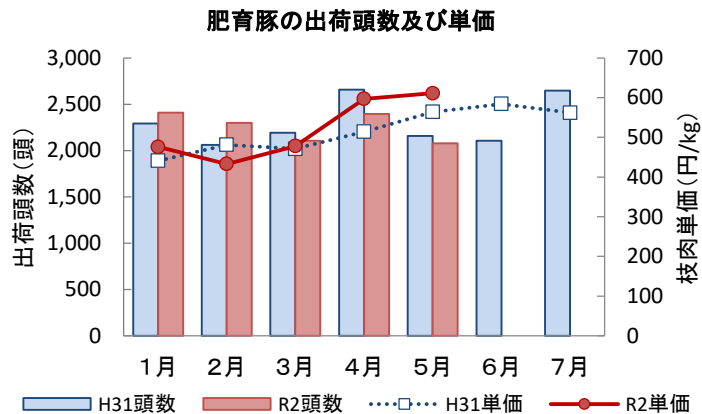
- ・交雑牛の出荷頭数は4月までは前年並みで推移していたが、5月は対前年同月比で17%低下した。
- ・また、5月の枝肉単価は対前年同月比で23%低下した。
- ・和牛同様、夏に向けて出荷頭数が増えるため、枝肉単価低下の影響が一層懸念される。



※ 出荷頭数は全ての交雑牛（成牛）、枝肉単価は交雑牛去勢B 3

ウ 豚（広島市中央卸売市場：県内産）

- ・月により増減はあるが、出荷頭数は前年並みで推移している。
- ・3月の枝肉単価は前年並みであったが、量販店での好調な需要を反映し、5月の枝肉単価は対前年同月比で8%上昇している。



エ 鶏卵（全農ひろしま M）

- ・外出自粛による家庭での消費増加の影響で、量販店での需要が伸び、4月の取引単価は対前年同月比で29%上昇した。
- ・生産量が増加傾向にあるため、5月の取引単価は前月比で16%低下した。

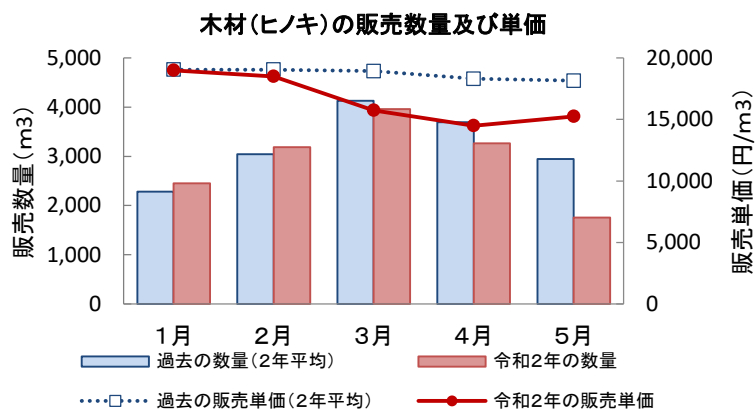
オ 牛乳

- ・3月は給食の中止に伴い、学校給食用牛乳からバター等加工向けに一部転換され、乳価が前月比で3%低下した。
- ・4月から5月は学校給食が再度休止されたが、加工向けが減少し、休校の影響が出る前の2月並みの乳価に回復した。

(3) 林業

ア 木材（広島県森林組合連合会三次木材共販所）

- ・景気の先行き不安や営業活動の制約などから住宅着工の遅れが出始め、これにより、一部工場が減産している。
- ・このため、例年（過去2年平均）と比較して、販売数量が3月以降減少し、木材単価も2割程度低下している。



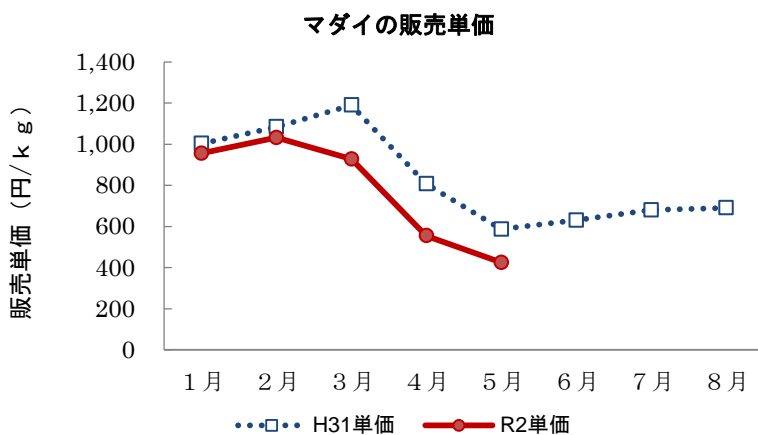
※単価はヒノキ：長さ4m、直径14～16cm

(4) 水産業

飲食店需要の減少が顕著となっており、マダイ、オコゼ、キジハタなどの高級魚や、ハマチ（ブリ）などの単価が広島市場において例年に比べ2～4割低下している。

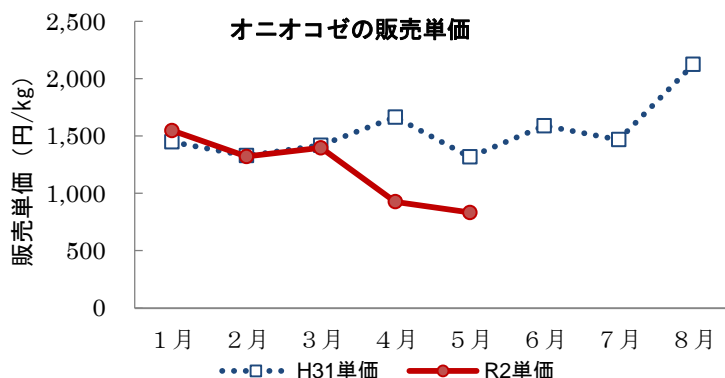
ア マダイ（広島市中央卸売市場：県内産）

- 販売単価は2月まで堅調であったが、3月以降下落傾向にあり、4月から飲食需要の減少が顕著で、5月は前年比で28%低下した。



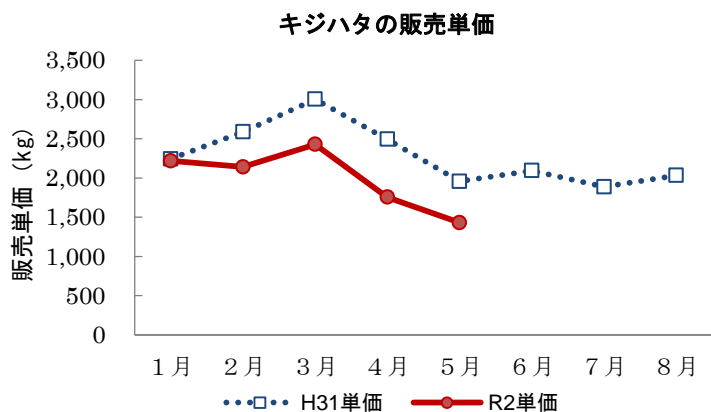
イ オニオコゼ（広島市中央卸売市場：県内産）

- 販売単価は3月まで堅調であったが、飲食需要の減少が顕著となった4月以降急落し、5月は前年比で37%低下した。



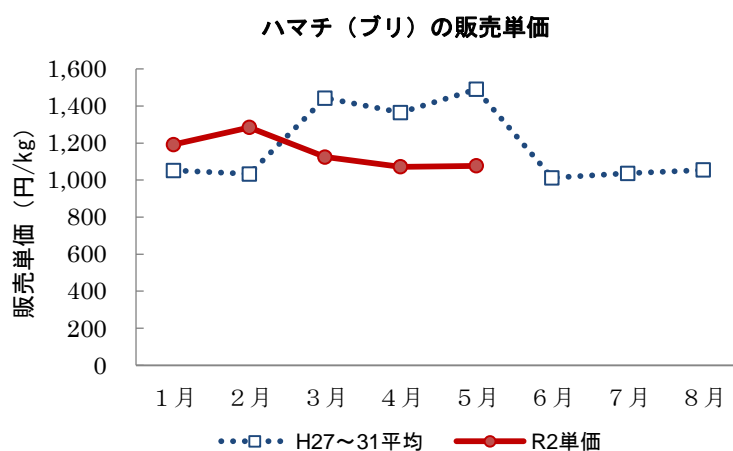
ウ キジハタ（広島市中央卸売市場：県内産）

- 販売単価は2月から3月にかけて前年比80%前後で推移していたが、飲食需要減が顕著となった4月以降更に落ち込み、5月は前年比で27%低下した。



エ ハマチ（ブリ）（広島市中央卸売市場：県内産）

- ・販売単価は1月から2月にかけて H27～31 平均と比較して 100%以上で推移していたが、3月以降は例年のような単価上昇が見られず5月は例年比で28%低下した。
- ・5月の出荷量については、H27～31の5月の平均出荷量と比較して50%低下した。



※ 漁獲量は年変動が顕著であるため割愛した。

※ 出漁は減っていないため、更なる価格の下落が懸念される。

オ かき（漁業災害特別対策資金の借入状況）

- ・昨年度の融資枠（1億円）を活用し、呉市、江田島市、東広島市の15名の生産者が融資を受けている。
- ・今年度の融資に関しては、市町に対し希望額調査に基づいた融資枠配分を実施しており、市町の予算成立後、借入手続きが開始される見込み。

2 新型コロナウイルス感染症の影響に対する対応策

対 応 策 等	
資金	<p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に花き・牛肉・かきなどの単価が低迷しており、所得の低下により資金繰り面での不安がある。 <p>(対応策) ※県ホームページに掲載し、生産者に周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産業については、運転資金として日本政策金融公庫のセーフティネット資金やJAグループの営農支援資金の活用や、農業近代化資金等の制度資金の償還猶予措置について、市町、JAを通じて周知している。 ・水産業については、漁業近代化資金等制度資金の償還計画の変更、償還猶予について、市町、広島県信用漁業協同組合連合会を通じて、漁業者に周知している。 <p>また、新たに運転資金が必要なかき養殖業者に対しては、市町を通じて、災害特別対策資金の活用を周知している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業・木材産業については、林業者等に対して、セーフティネット資金等について、市町、広島県森林組合連合会、広島県木材組合連合会を通じて周知している。
労働力	<p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、パート等雇用労働力の確保に一部で影響はあるが、経営上の大きな問題になっていない。外国人技能実習生については、引き続き出入国が難しい状況が継続した場合は影響が懸念される。 <p>(対応策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、他産業から就農への関心が高まることが予想されるため、独立就農を希望する方への実践型研修への誘導や、雇用就農を希望する方への農業法人等とのマッチングにより新規就農を支援する。 ・林業については、市町に対して、森林組合等の雇用を維持・確保する観点から、森林環境譲与税の効果的な活用を依頼している。
販売	<p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品を中心としたスーパーやインターネット販売、生協の売上が伸びている。 ・飲食店やホテルの消費については、回復傾向にあるものの前年同期と比べると低い状況となっている。 <p>(対応策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売に苦慮している花きや牛肉、かきなど県内農畜水産物等について、ECサイト（ひろしまモール）等を活用した販路拡大支援を実施している。 ・花きについては、花の業界団体と連携し、駅や公共施設などに花を装飾し、家庭やオフィスでの需要を喚起するとともに、定額購入サービスを核とした新たなサプライチェーンの構築に向けた準備を進めている。 ・牛肉の流通を促し、生産を維持することを目的として、和牛肉の学校給食への提供を支援することとしている。 ・林業については、国による塀や柵等の建築物の外構部や公共施設等での木材利用促進の取組について、関係機関に周知している。